

平成22年 第8回教育委員会 会議録

日 時	平成22年7月27日(火)午後3時～4時20分
場 所	向日市民会館 第5会議室
出席委員	前田委員長、雨宮委員、白幡委員、松本委員、奥野教育長
欠席委員	なし
事務局	教育部長、教育部次長、教育総務課長、生涯学習課長、学校教育担当課長、中央公民館長、文化財調査事務所長、総括指導主事、指導主事、教育総務課係長
議 題	報告第2号 向日市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について 委員会諸報告
傍 聴 者	1名
委員長	開会宣言
委員長	会議規則第8条の規定により、平成22年第7回会議録の承認を諮る。  (全員異議なし)
委員長	会議録は承認された。
委員長	報告第2号「向日市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について」報告を願う。
部 長	報告第2号 報告  京都府人事委員会規則の一部改正に基づき、「向日市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程」の一部改正を行った。府の改正規則が平成22年6月30日に施行され、本市の改正規程もそれに合わせて施行する必要のあったことから、やむを得ず、教育長に対する事務委任規則第5条の規定に基づき臨時代理を行った。それを報告し、承認を求める。 今回の改正は、仕事と「子育て」「介護」が両立できる環境を整備するために行われたもので、概要は以下のとおりである。  1 子育て休暇の対象について、これまでは法定の予防接種や健康診断を受ける場合に限られていたが、任意のもの(インフルエンザ予防接種など)にまで拡大された。

	<p>2 子育て休暇の年間取得可能日数について  子が1人の場合 7日            子が1人の場合            7日  子が2人の場合 8日 から 子が2人以上の場合 10日  子が3人の場合 9日  に拡大された。</p> <p>3 短期介護休暇が新設され、2週間以上にわたり日常生活を営むのに支障がある者(要介護者)の介護行う場合、年間5日(要介護者が2人以上の場合は10日)まで取得可能となった。</p>
委員長	<p>(質疑なし)</p> <p>報告第2号について承認される方は、挙手を願う。</p>
委員長	<p>(全員挙手)</p> <p>全員挙手により、報告第2号は承認された。</p>
委員長	<p>次に、委員会諸報告について説明を願う。</p>
部長	<p>アスベスト除去工事に関する対応等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議員全員協議会での報告内容について</li> <li>・予算上の措置について</li> <li>・保護者説明会での説明内容について</li> <li>・施工業者の決定について</li> </ul>
委員長	<p><b>【質疑等】</b>  第6向陽小学校の工事期間は。</p>
部長	<p>アスベスト除去工事には、厳格な施工基準が課せられており、事前に労働基準局や保健所との協議・承認が必要となる。そのため、契約上の工期は7月29日から8月26日までとなっているが、手続きの関係上、着工が遅れる可能性はある。しかし、2学期の始業式までには工事を終わらせる予定である。</p>
委員	<p>第6向陽小学校に係る予算が1千万円で、落札金額が808万5千円とのことだが、残りの200万円程度はどのような扱いとなるのか。</p>

部 長	契約変更（増額）する必要が生じなければ、契約差金として予算が残る形となる。
委 員	P T A や保護者の方から、健康への影響に関する質問はあったか。
部 長	質問内容は、工事期間中の安全対策や施設の利用状況に関するものがほとんどであった。
委 員	物集女公民館の工事着工予定が9月20日となっているが、それまでの間、公民館は利用できるのか。
部 長	通常どおり利用可能である。9月20日以降の利用予約は受付けていない。
委員長	これ以上質問がないようなので、次の委員会諸報告について説明を願う。
部 長	平成22年第2回定例会一般質問答弁要旨及び 文教常任委員会での質疑要旨について  教育委員会所管に係る一般質問 6名 学校経営アドバイザーに関する答弁ほか
委員長	【質疑等】 就学直前児（6歳児）を対象としたプレ・スクールについて、具体的な導入時期は決まっているのか。
教育部次長	すでに本市では、年長児対象の給食や音楽発表会での交流を行っている。京都府の計画を活用することにより、どのように事業を拡充できるのか、今後検討していきたい。
委員長	防災教材「チャレンジ！防災48」はどのような教材なのか。「防災教育」という言葉は、「食育」のように一般的に使われているのか。
教育長	様々な活用方法が可能な、優れた教材であると認識している。冊子としては相当な厚みがあるが、ホームページでも公開されており、ICT機器の活用を含め、具体的な活用方法について、現在、学校と協議している。

<p>総括指導主事</p>	<p>阪神淡路大震災以降、災害時における危険回避の方法など、学校における防災への取組みの必要性が高まった。それ以来、防災教育という言葉がよく使われるようになった。また、近年における国内外の大型災害もふまえて、様々な新しい教材が作られているところである。</p>
<p>委員</p>	<p>情報教育に関しては、どの程度の習熟度を目標に設定しているのか。</p>
<p>教育部次長</p>	<p>ワープロ、表計算ソフトなどの基本的な機能を活用した自己紹介カードの作成、インターネットを活用した情報収集などができることを目標としている。</p>
<p>委員長</p>	<p>第5 向陽小学校西側の通称ひまわりミラー交差点については、自分も危険性を感じることもあるが、時間指定で一方通行にするなど、何かよい方法はないか。</p>
<p>学校教育担当 課長</p>	<p>一方通行などの交通規制については、どうしても迂回路の確保という問題が生じる。 安全対策のひとつとして、地下道を抜けて東進してくる車については、スピードを落とすよう注意を促す文言を、道路面に表示する予定である。 今後も、議員をはじめ、地域の方、P T Aにご協力いただき、市においても交通指導員を配置し、児童の安全確保に努めていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>今年度から通知表が電算化されたが、その目的や効果は。</p>
<p>総括指導主事</p>	<p>今年度の1学期から、校務支援システムによる成績処理を行っている。成績データを蓄積し、それを指導や進路の際の資料として活用するほか、通知表等の作成に係る教員の校務軽減を目的としている。</p>
<p>委員</p>	<p>実際に校務は軽減されているのか。</p>
<p>総括指導主事</p>	<p>各学校からはよい反応を得ている。</p>
<p>教育長</p>	<p>校務支援システムの導入については、かねてより各学校からの要望が強く、今年度から実現することができた。今後、様々な活用方法が生まれると考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>閉会宣言</p>

